

令和元年度秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会

職員研修会 開催要綱

地域支援事業の効果的な活用に向けて

1 目 的

人口構造の急速な変化により、社会保障給付費の増大や人材不足等の構造的問題がいよいよ現実的なものとして目の前に差し迫っています。

社会保障制度を持続していく為には、介護予防と地域の支え合い、そして地域共生社会を念頭に置いた制度の再構築と自立支援に向けた意識の変容が求められており、各市町村、各センターが中心となって、地域支援事業の様々な取組みを推進しているところ

です。
その一方で、業務の多様化・複雑化により、各事業の効果的な実践やその成果の難しさが指摘されていることも事実です。

本研修会は、地域支援事業の効果的な連動と地域が主体となった多様なサービスの取組みについて考え、地域共生社会の推進を図ることを目的に開催します。

- 2 主 催 秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会
- 3 期 日 令和元年10月31日(木)
午後1時から午後4時45分まで
- 4 会 場 ホテルメトロポリタン秋田 3F ジュエル
〒010-8530 秋田市中通7丁目2番1号 TEL018-831-2222
- 5 対 象 秋田県内地域包括センター職員、在宅介護支援センター職員
行政機関職員 等
- 6 経 費 参加費 会 員：無料
非会員：5,000円
- 7 内 容 裏面日程表参照
- 8 申 込 み 別紙参加申込書により 10月7日(月)までお申込みください。

日 程 表

時 間	内 容
12:15 ～13:00	受 付
13:00 ～13:05	開 会 開会挨拶 秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 佐々木 基成
13:05 ～14:25	基調講演 「地域支援事業の効果的な連動と担い手不足への対応」(仮) 講師：小坂町福祉課町民福祉班 主事 三政 貴秀 氏 社会保障給付費の抑制や担い手不足への対応等、地域支援事業を実践していく上で の各活動の効果的な連動についてご講演いただきます。
14:25 ～14:40	休 憩
14:40 ～16:40	シンポジウム(グループワーク形式) 「地域支援事業における住民主体による多様なサービスについて」 進行役：秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会 幹事 大平 久美子 氏 助言者：小坂町福祉課町民福祉班 主事 三政 貴秀 氏 発表者：①岩手県矢巾町地域包括支援センター 認知症地域支援推進員 鱒沢 陽香 氏 ②特定非営利活動法人 ふれあい天童 代表理事 加藤 由紀子 氏 平成27年度に新たな地域支援事業が制度化されてから、早期に着手した市町村では4年が経過しています。秋田県全体を見渡すと、各地の具体的な取り組みにより進んでいる地域もある一方、介護予防や生活支援の資源が増えたという実感が少ない地域も多い状況です。住民主体による多様なサービスの先進事例を参考に、自市町村・センターでの今後の地域支援事業の取組みについて検討・共有する機会とします。
16:40 ～16:45	閉会挨拶 秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 佐々木 基成 閉 会

【問い合わせ先】

秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会事務局／長崎・煙山
社会福祉法人秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部内
〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5
Tel 018-864-2715 Fax 018-864-28
〈E-Mail〉 a-nagasaki@akitakenshakyō.or.jp

令和元年度秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会

職員研修会 参加申込書

所属名 _____

担当者氏名 _____

連絡先 _____

氏名	職種
	主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師 認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター 介護支援専門員・その他（ ）
	主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師 認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター 介護支援専門員・その他（ ）
	主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師 認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター 介護支援専門員・その他（ ）

※ 職種について…保有資格ではなく、配置の職種に○をお願い致します。
該当するものが無い場合はその他にご記入ください。

〈備考〉

FAX 送信先 018-864-2877

※ 送付状は不要ですので、このまま送信してください。

秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会事務局 長崎 宛て

申込締切 10/7 (月)